

一般質問

秩父市節電対策事業の検証

市民クラブ 江田 治雄

問 春の大震災による原子力発電の被災で、電力の供給不足による計画停電が実施された。全国民が節電意識を持ちそれに協力した。市でもいち早く節電対策本部を立ち上げ対応してきた。

具体的な対策と、要した費用、達成目標と成果は。さらに恒久的な対策はどうするのか。

答 全庁を挙げて取り組んできた。ゴーヤ・アサガオをプランターに植えてグリーンカーテンを作り室温を下げる取り組みをした。しかし、気候の影響で予想以上にツルが伸びなかった。あまり効果が無かったように思える。全体の費用については58万円で、プランター・ネット・種・培養土を購入した。目標数値は、昨年と比較して15%の削減目標とした。しかし、6月、7月共に目標を達成できなかった。夏の最盛期の8月は17%と目標を達成した。

水道・下水道等の施設は、従来から強力で節電対策を講じてきた。庁舎・学校等の施設も職員と市民が一丸となって取り組んだ成果と思う。今後も強力で推進していく。※私は、恒久的な対策として、建

物の南側へ落葉樹の植樹を提案した。それが節電につながり、さらには二酸化炭素吸収、地球温暖化防止等の提言をした。



アサガオのグリーンカーテン

- ◎ 市民クラブの政策提言の確認
- ◎ 秩父市の危機管理について
- ◎ 公共施設のバリアフリー化
- ◎ 部署の移動について

市政は風化していないか

市民クラブ 富田 俊和

問 現在のような経済不況の中で市民は失望感に陥っている、市長は秩父市のリーダーとして今、何をなすべきか。また、今の久喜政権は民主党政権に似ている。重要な案件については、より一層真剣に考え決断してほしい。

答 職員が知恵を出しあい統合し、地道に進めていくことが大切で、その結果、行財政、医療費、給食費などの改革に手を打つことができた。今後は、本庁舎等建設への取組、地域包括医療等の実践、山を蘇らせる仕組みづくり、観光資源等の充実、この4つを23年度の最重点事項として取組んでいく。

● 観光行政とまち興しについて

問 情報発信の効果よりもその土地で暮らす人達が仲良く楽しく生活していれば、人は自然に集まると思うがどうか。

また、秩父夜まつりの仮設トイレは、水洗化したほうがよいと思うがどうか。

答 人こそ観光資源という言葉には同感で、常々「人」に目を向けた観光振興に取り組んでいる。

仮設トイレの水洗化については、一部実施しているが多大な費用がかかるので現在のところ、検討していないが、定期的な清掃を行い現在のところ苦情をいただいてない状況である。

● 道路整備について

問 視目坂下交差点と、お花畑通線と県道との交差点は、緊急に整備する必要があると思うがどうか。

答 最重点課題として位置づけ、早期解決できるよう相手の立場に立ち誠意をこめ交渉を重ねていく。

議会インターネット録画中継

平成23年6月定例会から、インターネットによる議会の録画中継を開始しました。

本会議の初日(議案説明等)、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日(採決等)の映像を、秩父市のホームページから見る事ができます。または、「秩父市議会インターネット中継」と検索して、ぜひご覧ください。

一般質問

学校教育について

問 小中学校の統廃合の進展は。

答 特になが、調査研究する。

問 中学校の武道の必修化とは。

答 来年度から全ての中学校において柔道または剣道に取組む予定。

問 学力テストの実施状況は。

答 今年度は震災の影響で中止。

問 平成22年度の進路状況は。

答 全体の進学率は84%。秩父地域の高校への進学率は66%だった。

問 教育委員会委員選任の基準は。

答 年齢・性別・職業等に偏りがないように配慮し、委員のうちに保護者である者が含まれる。

●秩父市立病院について

問 前年度決算黒字化の要因は。

答 医療収益が増加したこと、定住自立圏による財政支援を受けられたこと、費用削減の努力など。

問 循環器内科の状況は。

答 患者数が増加している。

●森林・林業について

問 「秩父市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」とは。

答 市有施設等における秩父地域

市民クラブ 落合 芳樹

産木材を利用した木造・木質化等を推進する方針である。

問 「森林オーナー制度」とは。

答 市と都市住民が契約し、木材売却時に収益を折半するが、元本割れ分配となるが、理解された。

●吉田地域問題について

問 一本杉峠の状況は。

答 道路開削促進期成同盟会が5年半ぶりに再開したこともあり、進展させたい。



公共建築物の木質化の事例「秩父消防署東分署」

応急危険度判定士について

市民クラブ 木村 隆彦

問 東日本大震災において市役所および市民会館が被災し、応急危険度判定士により、「要注意」という診断がされた。応急危険度判定士の役割について。

答 地震により被災した建築物について、その後の余震等による倒壊の危険性等、人命に係る二次災害を防止することを目的としている。外観・内観の調査可能な限られた範囲内で沈下や傾斜、構造の被害等を目視により調査する。そして、判定基準にしたがって「危険」「要注意」「調査済み」の3区分で判定し、ステッカーに記載し外部より見やすい所に貼り、注意喚起を行なう。

問 飯能市においては、相当数の建築物が被災し、二次災害の恐れがあると判断した時には、市長は判定実施を決定し、判定本部を設置し、その他必要な処置を講じるという「被災建築物応急危険度判定要綱」が整備されている。秩父市の現状はどうか。

答 現在、当市には、要綱は整備されていないが、今後、整備して行きたい。

問 応急危険度判定士と、地域の

連携について。

答 震災により多くの建築物が被災した状況においては、効率的に業務を行うためには、地域組織と相互連携を図りながら対応していく体制作りを検討する必要があると考える。



埼玉県被災建築物応急危険度判定士登録証

◎学校教育について
◎定住自立圏構想について

一般質問

ご当地ナンバー制度の導入は

市民クラブ 笠原 宏平

問 地域の個性を売り出している市町村が多くなっている中、50ccの原動機付自転車に各行政で作成したデザインのナンバープレート装着する「ご当地ナンバー」制度がある。秩父市では秩父夜祭がユネスコ無形文化遺産に登録申請している。そこで、夜祭の屋台をデザインしたナンバープレートのバイクを走らせ、動く広告塔として市民の皆さんで、ユネスコ登録に向けて盛り上げるのに最適と思うが、市の考えは。

答 秩父市では、平成20年度に検討した経緯があったが、費用対効果を勘案し見送られた。しかし、今後、観光振興等の政策的な面で、有効と認められる場合には、改めて検討したい。

戸別合併処理浄化槽管理について

問 清流荒川の源流に位置している秩父市は、きれいな水を守る使命があると思う。浄化槽の管理状況や業者の現状は。

答 戸別合併処理浄化槽の市町村設置型は、秩父市内に1,119基あり、保守点検および法廷検査



ご当地ナンバー

◎公衆トイレの管理について

放射性物質の調査

市民クラブ 荒船 功

問 3月11日の東日本大震災による福島原子力発電所の事故で、放射能汚染は広い範囲に及んでいる。8月11日の朝日新聞朝刊の特集記事、放射性物質の流れのシミュレーションによると、埼玉県には3月20日に気流にのってきた形跡がうかがえる。政府は10万ベクレル以下であれば、セメントで固めるなどの処理をすれば埋め立てが可能との見解を示しているが、秩父市の下水汚泥の状況は。

答 秩父市下水道の焼却汚泥については、5月段階では2万ベクレル以上だったが、徐々に減少してきている。しかしながら、焼却汚泥の埋立処分場の確保は難しい状況にあり、現在、汚泥焼却設備建屋内に厳重に保管して、国、県の動向を見ながら対応していく。

下水汚泥(脱水ケーキ)については、太平洋セメント(株)の受入基準値500ベクレル以下を継続できれば安定的に処分できるので、今議会に補正予算を計上。

農産物の調査

秩父地域は米の刈り取りが9

月20日頃で、刈り取り後、即乾燥機にかける精米出荷地域がある。秩父地域の米の検査とその他の農産物の検査は。

答 米は9月8日に検査(結果は放射性物質は不検出)。その他の農作物については、県内を3ブロックに区分して毎週1回調査を実施。32品目356検体を調査。市は、ブルーベリー、原木シイタケ、茄子、小麦、二条大麦を検査。全て暫定基準値を下回っている。



保管してある焼却汚泥

一般質問

秩父が舞台のアニメ「あの花」

彩政会 新井 豪

問 全国の視聴率や注目度から「名作アニメ」となった「あの花」の関連イベント等は誘客の持続性を考慮して継続して企画すべきと思うが、観光客の現状と今後の展開は。

答 全国または海外から「マナーの良い」多くのファンが秩父市を訪れており、「住民税を秩父市に払いたい」との言葉もあるくらい観光客からも好評。あの花マップの発行、七夕イベント、聖地巡礼イベント等を開催し、声優のコンサート、龍勢イベントも予定しており、引き続きイベントを考案していく。

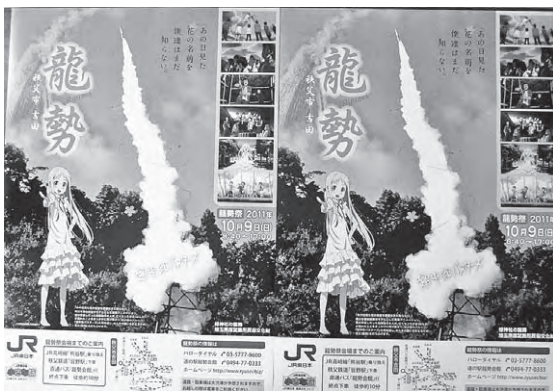
問 「秘密基地」の誘致、または常設のものを設置すべき。

答 誘致、設置も検討している。

● 「中央商店街」の復興

問 秩父神社周辺地域の開発計画についての現状は。

答 蔵づくり等の街並み再生やキスカ堂跡地利用等について、議員や地元住民に説明会を開催した。今後は事業の受け皿となる「事業協同組合」の設立を支援し、事業を推進していく。



「あの花」とタイアップした龍勢祭りのポスター

問 本町中町通り整備の進捗は。

答 移転補償は31件を契約済み。用地取得率は約30%で、平成29年度の完了を目指している。

● 「サイクルシティ秩父」構想

問 以前に設置を提案した「電動自転車レンタル」の現状は。

答 観光協会が昨年8月に運営開始してから台数も増やして利用者も増え続けており、昨年月平均の12倍以上の利用がある。

うつ病対策について

公明党 福井 貴代

問 うつ病対策は自殺予防強化の上からも緊急課題といえる。うつ病の早期発見に「こころの体温計」(ストレスチェック)を、市のホームページに導入できないか。

答 すでに導入している自治体を調査し、自分でメンタルヘルスチェックができる方法等を研究する。

問 相談窓口と広報の充実は。

答 わかりやすい広報に努力する。

問 内科医と精神科医のネットワーク作りの必要は。また、慢性化したうつ病に対して効果のある認知行動療法の導入に対する見解は。

答 医師会等と協議し検討する。

● 節電対策にLEDの導入

問 LED照明のリースや分割払い方式を活用して、学校や公共施設の節電対策に、LED照明をレンタルで導入しては。

答 LED照明をリースで導入することは、莫大な初期費用を発生させない効果的な方法である。LED導入にあたっては、リース・買取取り・ESCO事業など、効果的な方法を調査研究していく。

● 事業継続計画の策定について

問 地震のような大規模災害等、不測の事態が発生しても、行政機関が重要事業を継続できるように、事前に立てておく事業継続計画(B CCP)の策定について見解は。

答 大規模災害等の発生時における対応マニュアルは未整備であるが、先進地等を参考に研究する。



◎児童虐待について
◎視覚障がい者の情報バリアフリーに音声コードの活用